

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-309275

(43)Date of publication of application : 16.12.1988

(51)Int.Cl.

A61N 1/14

(21)Application number : 62-144286

(71)Applicant : HIOKI GUNJI

(22)Date of filing : 10.06.1987

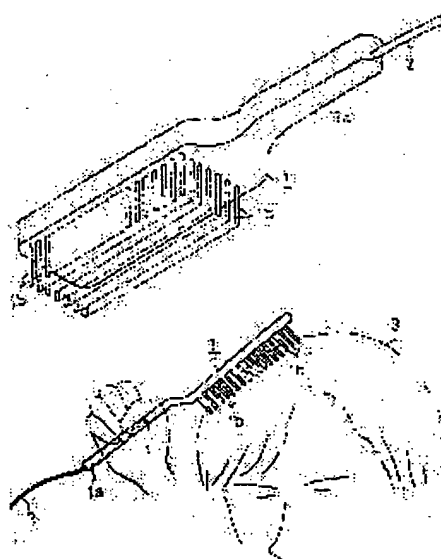
(72)Inventor : HIOKI GUNJI

(54) HUMAN BODY POSITIVE POTENTIAL EARTH APPARATUS

(57)Abstract:

PURPOSE: To effectively discharge the positive potential of the head of a human body, by arranging a large number of the leading ends of wire like bodies made of a conductor pushing aside the hairs of the human body to be capable of reaching the skin in a planar state and connecting the wire like bodies made of the conductor to an earth terminal.

CONSTITUTION: This human body positive potential earth apparatus consists of a contact main body 1 integrally formed from conductors composed of copper stainless steel or brass in a hair brush state and the earth terminal 2 drawn out from the grip part 1a of the contact main body 1 and the leading ends of a large number of the wire like bodies 1b provided to the contact main body 1 in an erected state are arranged and set in a planar state. When the wire like bodies 1b of this hair brush like human body positive potential earth apparatus are brought into contact with a hair part 3, the leading ends of the wire like bodies 1b put aside hairs to reach the skin and, when the earth terminal 2 is earthed, the accumulated positive potential of the head is gradually discharged through the wire like bodies 1b. When the discharge of this accumulated positive potential is performed over the entire region of the head and the earthing apparatus is used every day, the positive potential of the head is always held to a reduced state and various symptoms such as a dullness feeling or a fatigue feeling caused by the accumulated positive potential are eliminated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other

BEST AVAILABLE COPY

⑬ Int.Cl.*

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月16日

A 61 N 1/14

7242-4C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 人体正電位アース装置

⑯ 特 願 昭62-144286

⑰ 出 願 昭62(1987)6月10日

⑱ 発 明 者 日 置 軍 治 岐阜県岐阜市長住町7丁目2番地

⑲ 出 願 人 日 置 軍 治 岐阜県岐阜市長住町7丁目2番地

⑳ 代 理 人 弁理士 恩田 博宣

明 細 書

1. 発明の名称

人体正電位アース装置

2. 特許請求の範囲

1 人体の頭髪を掻き分けて地膚に到達し得る多数の導体製の線状体(1b, 5, 7)の先端を面状に整列し、導体製の線状体(1b, 5, 7)にアース端子(2, 6, 9)を接続したことを特徴とする人体正電位アース装置。

3. 発明の詳細な説明

発明の目的

(産業上の利用分野)

本発明は人体内、特に頭部内の正電位を減少して健康増進を図る人体正電位アース装置に関するものである。

(従来技術)

人体内に蓄積される正電位を取り除くことにより健康増進を図り得ることは従来より知られており、本願発明者はそのための人体正電位アース装置を特開昭61-199869号公報に開示して

いる。この人体正電位アース装置は導体細線を網状に織り成した網状導体面からアース端子を引き出したものであり、この網状導体面を人体に接触させることによりこの接触部位における正電位放電が行われる。

(発明が解決しようとする問題点)

しかしながら、このような網状導体面からなる人体正電位アース装置では頭部における正電位放電が頭髪により阻害され、頭部における正電位放電を効果的に行い得ないという問題がある。

発明の構成

(問題点を解決するための手段)

そこで本発明では、人体の頭髪を掻き分けて地膚に到達し得る多数の導体製の線状体の先端を面状に整列し、導体製の線状体とアース端子とを接続して人体正電位アース装置を構成した。

(作用)

即ち、導体製の線状体の先端部が頭部の地膚に到達することにより、頭部に蓄積した正電位が頭髪に阻害されことなく導体製の線状体からアース

ス端子を経由して効率よく放電される。

(実施例)

以下、本発明を具体化した一実施例を第1、2図に基づいて説明する。

この実施例の人体正電位アース装置は、銅、ステンレススチール、真鍮等の導体によりヘアブラシ状に一体形成された接触本体1と、接触本体1の握り部1aから引き出されたアース端子2とからなり、接触本体1に立設された多数の線状体1bの先端が面状に整列設定されている。第2図に示すようにヘアブラシ状の人体正電位アース装置の線状体1bを頭髮部3に当てれば線状体1bの先端が頭髮を掻き分けて地膚に到達し、アース端子2を接地しておけば頭部の蓄積正電位が線状体1bを経由して徐々に放電する。この蓄積正電位放電を頭部の全領域で行なうと共に、アース装置を毎日使用すれば、頭部の正電位が常に低減した状態に維持され、蓄積正電位に起因する頭部の鈍重感、疲労感等の諸症状が解消する。

なお、接触本体1を振動して線状体1bにより

ことにより就眠時に線状体7の露出先端部が頭部の地膚に接触し、頭部の正電位放電が行われる。

なお、本発明とは直接関係ないが、第5図に示すようにコイル状の金属細線11を手で把持し得る程度の大きさのたわし状にまとめ、金属細線11からアース端子12を引き出して構成した正電位アース装置にて人体の各部をマッサージすれば、乾布摩擦の効果に正電位アース効果が加わり、マッサージ部の皮膚強化と共に蓄積正電位に起因する神経痛、肩凝り、疲労等を解消して健康増進を図ることができる。

第6図は導体製の芯材13に金属製の極細線14を略平行に巻回し、芯材13にアース端子15を接続して構成した正電位アース装置であり、第5図と同様に人体の各部をマッサージすれば同様の効果を得ることができる。

第7図(a)、(b)は扁平状のクッション材(図示略)の表面側に導体製の金網16、裏面側に布、レザー等のカバー17を配設して両者の周縁を縫い合わせ、金網16からアース端子18を

頭部の地膚に適宜のマッサージを与えれば、この刺激作用と正電位放電とにより毛根部の血流がよくなり、育毛が促進される。

本発明は勿論前記実施例にのみ限定されるものではなく、例えば第3、4図に示す実施例も可能である。

第3図の実施例では、導体製の基板4上に導体製の多数の線状体5を立設すると共に、各線状体5の先端部を除いて基板4及び線状体5を合成樹脂20でヘアブラシ状に埋設形成し、基板4からアース端子6を引き出している。これにより頭部の地膚には線状体5の面状に整列された露出先端部が接触し、前記実施例と同様の正電位放電が行われる。又、合成樹脂の高い滑り性能がヘアブラシとしての使用も可能とし、しかも安価な合成樹脂の採用によりコスト的にも有利である。

第4図の実施例では、多数の線状体7がそれらの先端部を除いてゴム盤8内に埋設されていると共に、アース端子9がゴム盤8内にて各線状体7に接続されており、ゴム盤8を枕10に巻付ける

引き出して構成した正電位アース装置であり、カバー17側に縫い付けたバンド19とカバー17との間に手を入れて人体の各部を金網16側でマッサージするものである。この正電位アース装置によれば内部のクッション材が金網16と人体表面との摩擦を通宜緩和し、使用感が極めてよい。

第5、6、7図の各アース装置を使用する場合には、入浴時に石鹸をつけて人体の各部を摩擦すれば特に効果がある。

発明の効果

以上詳述したように本発明は、人体の頭髮を掻き分けて地膚に到達し得る多数の導体製の線状体の先端を面状に整列し、導体製の線状体とアース端子とを接続したので、線状体の先端部を経由して頭部の蓄積正電位を徐々に放電することができ、蓄積正電位に起因する頭部の鈍重感、疲労感等の諸症状を解消し得るという優れた効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明を具体化したヘアブラシ状の正電位アース装置の斜視図、第2図は使用状態を示

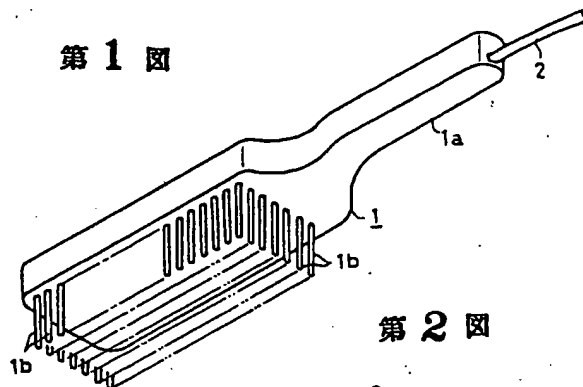
す参考図、第3図はヘアブラシ状の正電位アース装置の別例を示す縦断面図、第4図は枕に巻付けて使用する正電位アース装置の斜視図、第5図、第6図はいずれもたわし形状の正電位アース装置を示す斜視図、第7図(a)、(b)は同じくたわし形状の正電位アース装置の別例を示す斜視図である。

線状体1b、5、7、アース端子2、6、9。

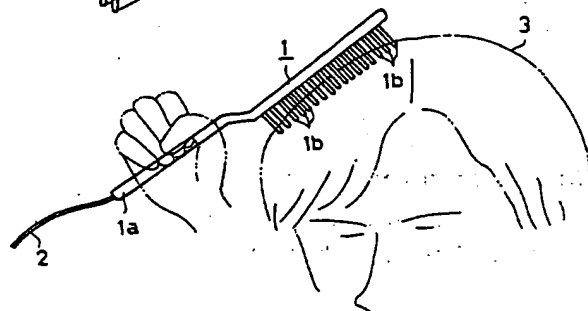
特許出願人 日置 軍 治

代理人 弁理士 恩 田 博 宣

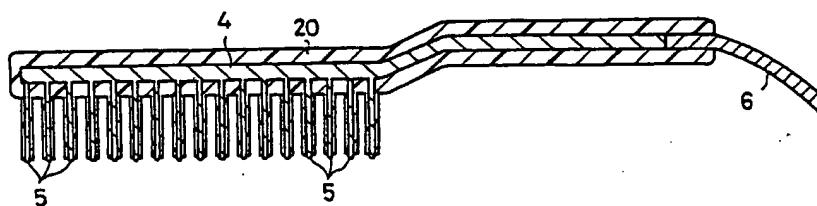
第1図



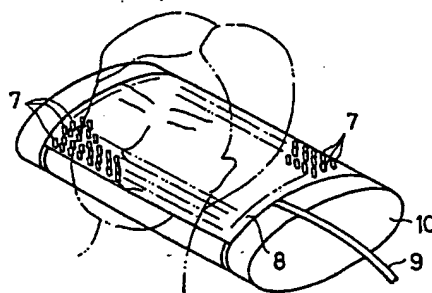
第2図



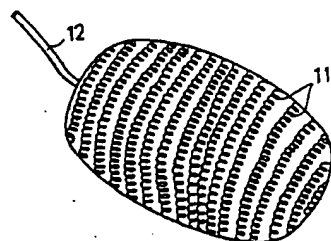
第3図



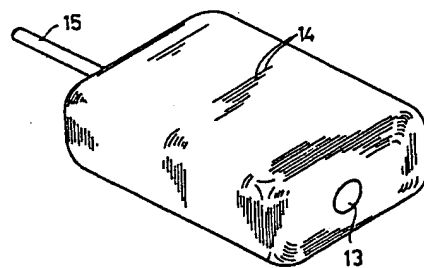
第4図



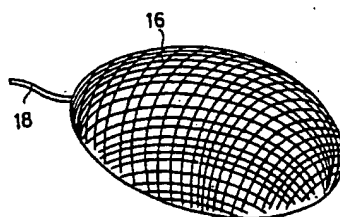
第5図



第6図



第7図 (a)



第7図 (b)

